

高松塚古墳及びキトラ古墳の保存活用について

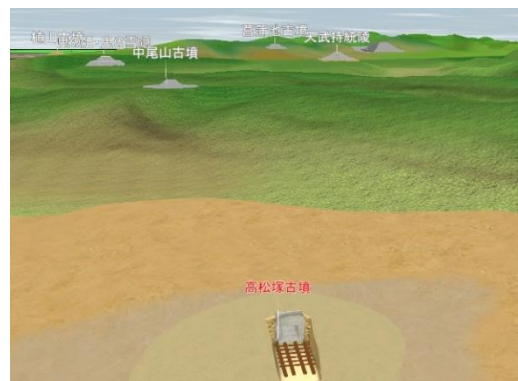
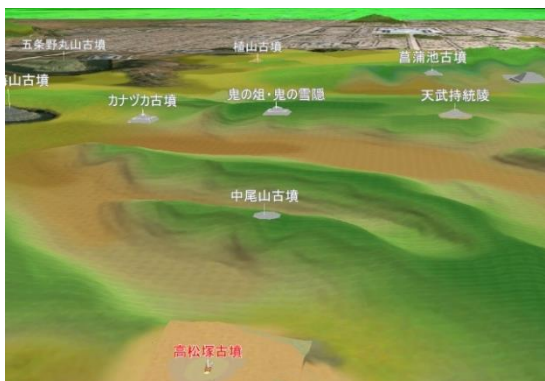
○発掘調査の整理および活用：高松塚古墳

1) 平成18・19年度発掘調査区三次元復元モデルの作成

周辺地形の復元、古墳の構築過程など各種モデルの編集・統合作業を行った。



高松塚古墳発掘区三次元モデル（平成18・19年度調査区統合）



高松塚古墳構築過程再現モデルと周辺地形モデルの統合状況

2) 水準杭切り取り資料の保存展示用台座製作

本年度は、SX221（横置き）、SX224・226（正立）の台座を製作した。



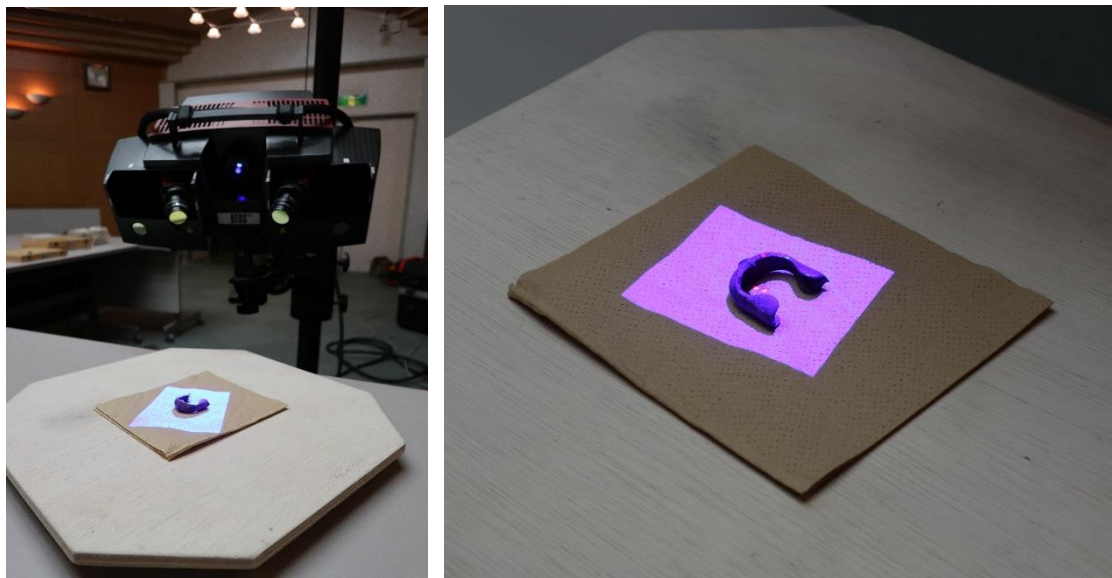
水準杭 SX221 台座装着状況



水準杭 SX226 台座装着状況

3) 昭和 47 年度調査出土品の三次元計測

刀装具（冑金、石突、山形金物、露金物、留鉾、俵鉾、山形金物釘）について、高精度の三次元計測を行った。また、三次元モデルの編集、出力を行った。



三次元計測風景



刀装具（銀製山形金物）の三次元モデル

4) 高松塚古墳壁画保存に関する映像資料のアーカイブ化

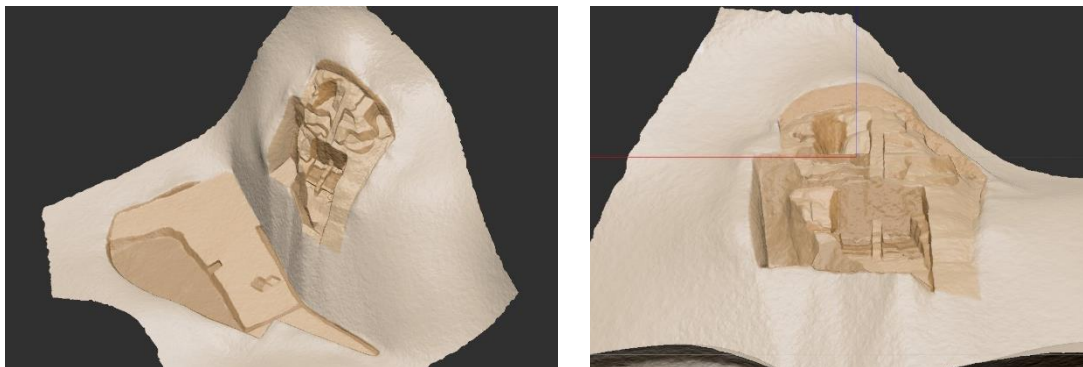
高松塚古墳石室解体事業時に撮影された映像資料が奈良文化財研究所に保管されており、順次アーカイブ化を進めている。本年度は、平成 19 年の資料をもとに、下記の 2 本のムービーを制作した。

- ・ 国宝高松塚古墳壁画 石室解体ドキュメント 石材の取り上げ作業の概要
- ・ 国宝高松塚古墳壁画 石室解体ドキュメント 天井石 4 の取り上げ

○発掘調査の整理及び活用：キトラ古墳

1) 平成 14 年度の発掘調査区の三次元モデルの作成

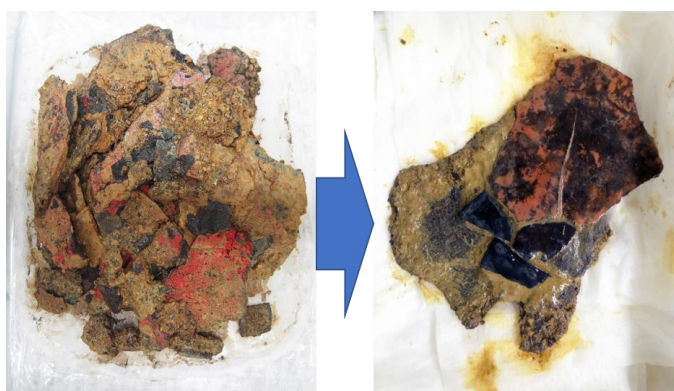
本年度は、平成 14 年度に実施した墓道部の発掘調査区について、三次元モデルを作成した。



平成 14 年度発掘調査区の三次元 CG

2) 石室内より出土した遺物の保存・活用を行うための必要な措置の実施

木棺漆膜について適切な保存処理を実施するため、事前に撮影した X 線 CT 画像などを参考にしながら、破片の取り外しを進めた。



取り外し前

+



取り外し後

3) 四神の館における国宝キトラ古墳壁画の活用

本年度は引き続き、キトラ古墳壁画保存管理施設の日常的な管理運営、施設ホームページの運営を行った。

本年度はじめは新型コロナウイルス感染症対策のため、4月1日～6月14日までを臨時閉室とした。また、第15回の国宝キトラ古墳壁画公開（5月16日～6月14日）は中止となった。

第16回公開（7月18日～8月16日）、第17回公開（10月17日～11月15日）、第18回公開（令和3年2月6日～3月7日）では、壁画公開に合わせて解説パネル・出土遺物レプリカ・模型等を展示した。また、壁画公開チラシ、ポスター、解説リーフレットを製作した。解説リーフレットは英語、中国語（簡体字・繁体字）、韓国語を毎回用意して外国語対応を充実させた。さらに、壁画解説映像を制作し展示室前にて上映するとともに、第17・18回では展示室における音声解説ナレーションも制作した。

第17・18回の壁画公開にあわせて、キトラ天文図を解説する移動プラネタリウムのイベントを実施した。期間は、10月24日～11月3日、令和3年2月20日～2月28日で、それぞれ1,230名、930名が参加した。令和2年9月には、キトラ古墳天井壁画が日本天文遺産に認定された記念として天文図のポストカードを製作し、第17回公開参加者およびプラネタリウムイベント参加者に配布した。

壁画が公開されない期間においても展示室の公開を実施し、キトラ古墳石室模型や中国の天文図拓本などを展示した。また、お正月展示「キトラ古墳壁画の十二支」（12月26日～2月2日）を開催し、「十二支 丑」の解説シートを製作した。



解説リーフレット、解説シート



日本天文遺産記念ポストカード

○キトラ古墳の整備活用

1) 整備後の墳丘の経過観察

平成 28 年 9 月の供用開始以降経過観察を行ってきたが、平成 31 年 3 月、墳丘法面保護のため、下段に芝張りを施し、上段にササを補植した。その後の育成状況について、継続して経過観察を行っている。下段・芝張り施工部は、時間の経過とともに良好に活着し、周辺地形と馴染んできているが、上段・ササ補植部は衰退傾向にあり、令和 3 年 1 月にはかなり少なくなっている。今後、とくに春、夏の経過観察が必要である。



平成 31 年 3 月補植直後



令和元年 5 月 3 日



令和元年 5 月 31 日（東から）



令和元年 10 月 14 日（東から）



令和 2 年 7 月 2 日（南から）



令和 3 年 1 月 26 日（南から）

2) 墳丘現地の活用

例年、奈良文化財研究所と国営飛鳥歴史公園の共催により、キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会を年に4回実施してきたが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

○高松塚古墳の整備活用

1) 高松塚古墳壁画の乾拓板制作

昨年度まで、天井星宿図、青龍、白虎を制作してきたが、本年度は、西壁女子群像・東壁女子群像・西壁男子群像・東壁男子群像・玄武・日像・月像を制作した。次年度以降、乾拓体験会などイベントに活用してゆきたい。